



Washington Japanese Language School
ワシントン日本語学校

はなみずき

mail:wjls@wjls.org <http://www.wjls.org/>



2023年11月4日発行 第23号

ワシントン日本語学校

[ワシントン日本語学校事務局]

HOT LINE (301)962-7415

TEL (301)962-7410

FAX (301)962-7411

『万巻の書を読むにあらざるよりは』

いづくんぞ 千秋の人たるをえん』

校長 三原 洋一

美しい街路樹の紅葉も終わりを近づけ、落ち葉が舞い散る中、冬の寒さを予感させる冷たい風が吹くようになりました。私にとって、これから訪れるメリーランドでの初めての冬をしっかりと楽しみたいと思っています。

さて、本日から3週にわたって、今年初めての授業参観を実施します。後期の始まりに新たな気持ちで学び合う子どもたちの姿を是非ご覧いただければと思います。



さて、今週号の見出しは、幕末の偉人、長州藩で松下村塾を開いた吉田松陰の言葉で、『多くの本を読み、勉強しなければ、どうして名を残すような立派な人間になることができるでしょうか、しっかりと勉強なさい。』という意味で、読書の大切さを説いています。ご存じのように、黒船への密航計画を自首した松陰は、地元・萩の野山獄に幽閉さ

れたのですが、その獄中にいた約3年の間に、1,460冊もの書物を読破したといわれています。1カ月あたり約40冊にのぼります。彼が、幕末維新に大きな影響を与えた存在となったのも、この読書によって得た力なのかもしれません。

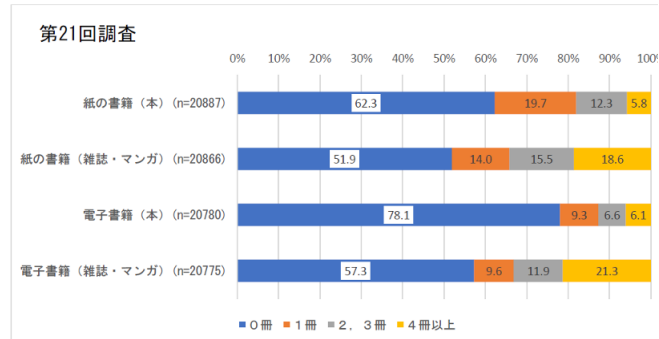
日本では、毎年10月27日から11月9日までが「読書週間」です。これは、良書の普及、読書の奨励を目的として設定された週間です。読書は、単に本から知識を得るためのものだけではなく、様々な著者の思いや願いに触れることで、夢や希望をもち、心を豊かにすることができます。だれでも、スマートフォンが一台あれば、必要な情報がほとんど手に入るという時代だからこそ、読書によって育てなければいけない人間としての本質の部分を大切にしていきたいと考えます。



文部科学省が2001年に生まれた子どもを対象に、0歳から生活習慣などを毎年尋ねている「21世紀出生児縦断調査」の2022年

実施結果によると、読書週間では、『この1カ月に読んだ紙の本の数』について、0冊と答えた割合が、62.3%です。この調査では、「紙の雑誌・マンガ」や「電子書籍」でも、過半数が0冊と回答しており、読書離れが目立ったと報告されています。

図 10 この1か月に読んだ書籍の数



「21 世紀出生児縦断調査（平成 13 年出生児）」（文部科学省）

本校においても、9月の図書館での本の貸し出し状況は、一人平均、幼・小学部で、約2.8冊、中・高等部で約0.7冊となっており、タブレット等で本を読んでいる子どももいることを踏まえても、まだまだ貸出冊数が少ないように感じます。

本を読むということは、国語力との関係でも、「考える力」「感じる力」「想像する力」「表す力」「国語の知識等」のいずれにも関わっていて、これらの力を育てる上で中核となるものです。これらの力は、学力の向上のため、全ての教科の学習において大切なものです。

子どもたちには、学力の向上のためにも、読書をする習慣を身につけてほしいと思います。ただし、「本を読みなさい。」と繰り返し言っても、なかなか子どもたちは読書をしないものです。まずは、われわれ大人が読書のための環境をつくり、手本を見せることも大切ではないでしょうか。

たとえば、コンピュータの可能性を切り拓いたビル・ゲイツ氏の両親は書物を身近に置き、息子が本好きになるように導いたといえます。しかも、読書に集中させるため、平日はテレビを禁止したそうです。その結果、親

子は本の内容から政治のことまで、あらゆる問題について意見を交わすようになったというのですからすばらしい取組だと言えます。そして、ビル・ゲイツは、平日は1日1時間以上、週末にはさらに多くの時間を読書に費やしていたといえます。

本校の図書館は一万冊以上の蔵書を誇ります。この秋は、スマホやタブレットを置いて、家族で、紙の本で読書をする時間を確保してみたいはいかがでしょうか。

おめでとうございます！

本校サイエンスサロン企画

において、第54回市村アイデア賞に応募したところ、応募総数32,688件の中から、本校の小学部6年生ビビー暁さんが、「ビニールスリ開け君」で、市村アイデア奨励賞を受賞しました。大変おめでとうございます。



金城太一教育参事官特別講演 (10/28)

本校創立65周年記念事業の一つとして、在米国日本国大使館の金城教育参事官をお招きし、「大使館における教育分野の取組と在外教育施設に期待すること」と題した特別講演会を開催しました。

講演では、大使館における教育分野の主な取り組みや、在外教育施設の重要性や期待することについてお話をいただき、多くの貴重な情報を得ることができました。短い時間でしたが、質問も多く出るなど充実した研修の機会となりました。

